



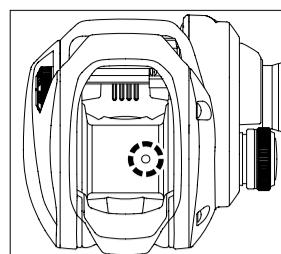
## 使用方法・リールの準備

※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

### ■スプールへの糸止め方法

スプールに糸を巻きつけて締めこんでください。結びこぶをスプールの凹みに入れ込んでください。

\*テープを貼り付けて固定しても大きな不具合にはなりませんが、回転性能を最大限に引き出すために推奨いたしません。



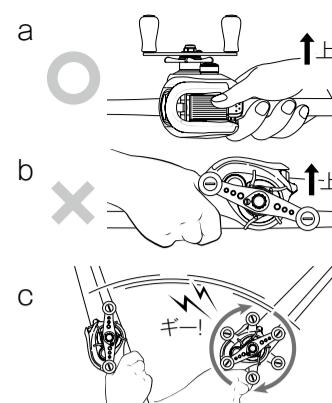
### ■キャスティング方法

●正しい握り方  
ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。（図 a）

下記の握り方でキャストされますと、クラッチ返りが起こりやすくなりますので避けください。

ハンドルを横向きにしてしまうと…  
(図 b)

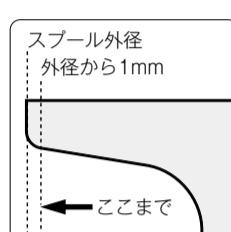
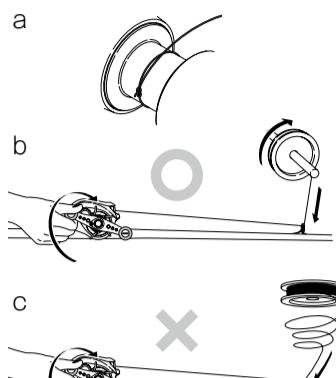
キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。  
(図 c)



### ■糸の巻き方

1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図 a）
4. 糸が巻かれているボビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのボビンと軸を誰かに持つてもらい、適度なテンションをかけて、ボビンを回転させながら糸を巻き取るようにしてください。（図 b）

図 c のようにならないようご注意ください。



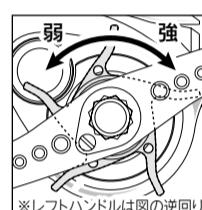
尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを充分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

### ●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。

### ■スタートドラグ

ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。



### ■ドラグの調整方法

ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタートドラグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚のペースト速度を想定して糸を引き出してください。



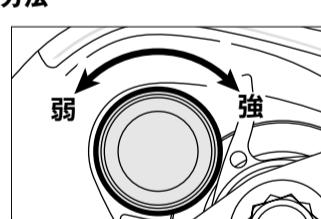
### ■メカニカルブレーキノブの調整方法

メカニカルブレーキノブはスプールの回転にブレーキを掛けるものです。右に回すとブレーキが強くなり、左に回すと弱くなります。

通常はスプールがガタつかない程度に緩めてお使いください。

この状態が DC ブレーキ本来の性能を発揮できる状態です。

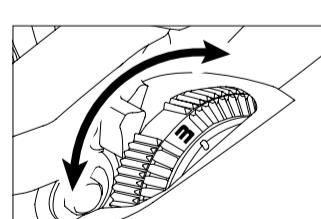
\*ただし、対バックラッシュ性能をさらに上げたい場合には、メカニカルブレーキノブを少し締め気味にすると、よりバックラッシュにくくなります。



### ■ブレーキダイヤル目安表

下記表を目安に外部ダイヤルをセッティングしてください。

なお、ルアーの形状や風など条件によっては異なる場合がございます。



### 【プロライン使用時】

ダイヤル4	軽めのミノー・シャッド・クランク、バスベイト
ダイヤル3	クランク、スピナーベイト、シャッド、ミノー、ビッグベイト
ダイヤル2	鉄板系、バイブレーション、キャロ
ダイヤル1	ダイヤル2のルアーの追い風

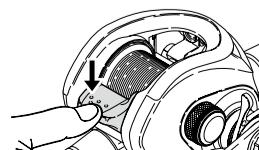
\*ナイロンラインまたはPEライン使用時…1段階弱め。

\*追い風時…1段階弱め。

\*向かい風、横風…1段階強め。

### ■クラッチ操作方法

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッとき音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。

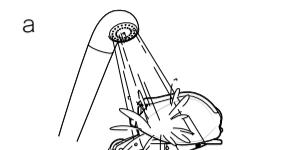


## お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

### ① 必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。



### ② 水洗いしてください。

ドラグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1~2分間水洗いしてください。（図 a）

スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとともに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

\*温水はグリスを洗い流す可能性があるので避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



### ③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。（図 b）

\*直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。

\*隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

### ④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H (メンテスプレーセット)	¥1,900
SP-013A (オイルスプレー)	¥1,050
SP-023A (グリススプレー)	¥1,100
SP-015L (ザルスリールオイルスプレー)	¥1,500

\*最寄りの販売店でお買い求めください。上記は2019年08月現在の品番及び税抜本体価格です。

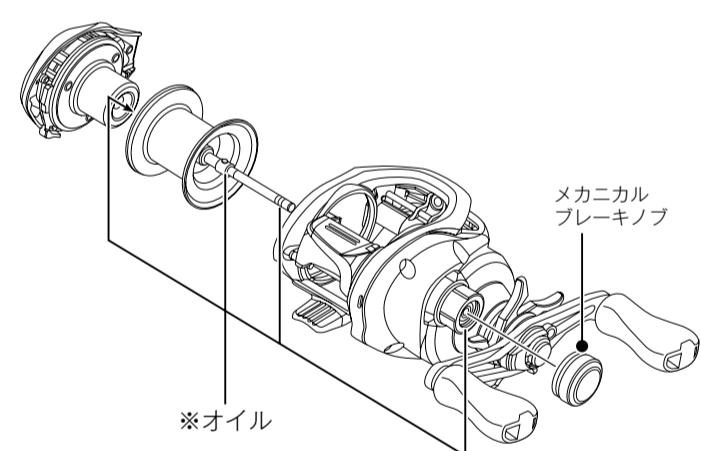
### 《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレーをまちがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）オイルはごく少量で充分です。特にペアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。

\*イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

### ●注油箇所



### ⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。

また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッショボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

## SLX DC 70/71 70HG/71HG 70XG/71XG

SLX  
DC

70/71

70HG/71HG

70XG/71XG